

2011中野市民音楽祭

▶会場に美しいハーモニーが響きました

8月27日、市民会館ホールにおいて「2011中野市民音楽祭」を開催しました。

市内23の音楽団体の皆さんが参加し、合唱をはじめ箏や吹奏楽の演奏のほか、全員で中山晋平作曲の「毬と殿さま」高野辰之作詞の「故郷」久石譲作曲の「君をのせて」を合唱しました。

また、子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう！」の皆さんが特別演奏し、ミュージカルを披露しました。



信州のシンボル



NAKANO スナッツ

市民水泳大会

▶号砲とともに勢いよく飛び込む選手ら

8月28日、中野市民プールにおいて中野市体育協会主催の市民水泳大会が開催されました。

好天に恵まれ絶好の水泳日和となったこの日は、約130人が参加し、50m自由形や平泳ぎなど21種目に分かれて競技を行いました。

参加された皆さんは、友達や学校の先生、家族らの大きな声援に後押しされながら、ゴールを目指して元気良く泳ぎ、日ごろの練習の成果を発揮していました。



信州中野ICにデザイン画制作

◀市の特産品を描く中野西高美術部員の皆さん

信州中野インターチェンジ料金所の柱2本に、観光・地域活性化を目的としてデザイン画を描きました。

これは、市と株式会社ネクスコ・トール北関東長野事業部、市内高校が協力して行ったもので、8月8日には中野立志館高等学校の美術部員5人が市の花の一つである「バラ」を、8月10日には中野西高等学校の美術部員10人が市の鳥「チョウゲンボウ」や市の特産物などをモチーフにしたデザイン画を描きました。

部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会

▶真に人権が尊重された地域社会を目指して

8月24日、市民会館ホールにおいて部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会が開催されました。

これは、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすための法律の整備、「人権政策確立」を求め、住民参加による「人権のまちづくり」を通じて、人権が尊重された地域社会づくりを目指すもので当日は、東京外国語大学非常勤講師の黒坂愛衣さんをお迎えし、「部落差別問題のいま・これから」と題して講演いただきました。



なにわコンサート2011

◀男声の美しい歌声が会場を包みました

8月20日、中山晋平記念館において「なにわコンサート2011」を開催しました。

本年で結成25年目を迎える平均年齢70歳の男声合唱団「なにわ」の皆さんが、中山晋平作曲の「毬と殿さま」「東京行進曲」「ゴンドラの唄」など、童謡から流行歌まで名曲の数々を披露しました。

また、会場の全員で童謡や唱歌を合唱するなど、和やかな雰囲気にも包まれたコンサートでした。

表紙の説明

市長杯争奪市内高校野球大会

8月12日、市営野球場において、市長杯争奪市内高校野球大会を開催しました。この大会は、昭和59年から始まった歴史ある大会で、本年度で28回目を迎えました。当日は、中野立志館高等学校と中野西高等学校が対戦し、7対5で中野西が勝利し、通算で18回目の優勝を飾りました。

また、試合後は両校による練習試合も行われ、親睦を深めました。



ムシカアレグレコンサート

◀繊細かつ迫力ある音色が響き渡りました

8月28日、高野辰之記念館において「ムシカ（音楽）アレグレ（楽しい）コンサート」を開催しました。

長野市出身で国立音楽大学、東京学芸大学講師の荒井雅至さんとその門下生の皆さん、国立音楽大学附属中・高等学校講師の小宮康裕さんにより、高野辰之作詞の「故郷」をはじめ、名曲の数々が演奏されました。

また、当日は高野辰之の姪の古田のりさんから、グランドピアノの寄贈がありました。